

【様式 02】 高大連携公開講座シラバス

| | |
|----------|-------|
| * 科目 No. | 21205 |
|----------|-------|

| | | | | | | |
|--|---|--------------------|----------------------|---------|---------|---------|
| 1. 開設大学 | 広島大学 薬学部 | 開講場所 (キャンパス・施設) | 広島国際会議場 フェニックスホール | | | |
| 2. 科目名 | 薬学研究を担う研究者に学ぼう第9弾 | | | | | |
| | 学問分野 | 番号 | 34 | 名称 | 保健 (薬学) | |
| 3. 担当教員 | 薬学部 准教授, 助教等 3名 (世話係) 薬学部副学部長 | | | | | |
| 4. 開講期間 (曜日) 開講時間 | 平成 31 年 8 月 20 日 (火) 13 時 10 分 ~ 16 時 20 分 (60 分 × 3 回) | | | | | |
| 個別開講日 | 1 回目 8/20 | 2 回目 / | 3 回目 / | 4 回目 / | 5 回目 / | 6 回目 / |
| | 7 回目 / | 8 回目 / | 9 回目 / | 10 回目 / | 11 回目 / | 12 回目 / |
| 5. 募集定員 | 150 人 | | | | | |
| 6. 科目内容・ 授業計画 | <p>講座計画については、決定次第広島大学エクステンションセンターのホームページへ掲載します。http://www.hiroshima-u.ac.jp/extension/</p> <p>「薬学」分野で最前線の研究を行い、薬学研究を担う先生が、分かりやすく、かつ、実験、研究の面白さを情熱的にお伝えします。 3 講義 (60 分 × 3 = 180 分)</p> <p>高橋 陵宇 准教授 13 : 10 ~ 14 : 10 薬学研究からわかる「生命のしくみ」と「薬づくりの現状」</p> <p>木下 恵美子 助教 14 : 15 ~ 15 : 15 タンパク質のはたらきを調べることから始まる薬の開発</p> <p>川見 昌史 助教 15 : 20 ~ 16 : 20 くすりはリスク? ~ 薬の副作用を軽減した適正な治療法の開発に向けて~</p> | | | | | |
| 7. 受講料 | 無料 | | | | | |
| 8. 別途負担費用 | (テキスト代・実習料等) なし | | | | | |
| 9. 開講条件※1 <input checked="" type="checkbox"/> あり・ <input type="checkbox"/> ない | ① 最少開講人数 (10 人) 定員超過の不許可は選考により決定 | | | | | |
| | ② 不許可・不開講通知日 (7月12日(金)以前の開講科目は3月末まで/7月13日(土)以降の開講科目は6月末まで) | | | | | |
| 10. その他特記事項 | <p>受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと</p> <p>集合場所：広島国際会議場 (フェニックスホール) 広島大学オープンキャンパス 1 日目 (薬学部の会場は広島国際会議場) に併せて行います。当日は混雑が見込まれます。</p> | | | | | |
| 11. 開設大学への 交通手段 | <p>広島国際会議場 (アクセス) http://www.pcf.city.hiroshima.jp/icch/access.html</p> | | | | | |

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。